

## V 自由記述



回答者 1,473 人のうち、291 件（19.8%）の自由記述を得た。記述内容を分類すると、以下の通りとなっている。

項 目	件数 (件)
回答数	291
(述べ回答数)	311
1. 男女の地位・平等感について感じる事	57
2. 家庭生活	32
3. 社会参画（地域活動）	19
4. 少子高齢社会	12
5. 職業・就労	65
6. 男女平等教育	36
7. 男女共同参画に関する施策	37
8. 本アンケートについて	8
9. 市政全般への要望・苦情	35
10. その他	10

以下に、主な意見を抜粋する。なお、掲載にあたっては、一部を省略したり、言葉遣いを改めたりなど、若干の修正を加えているものもある。文末の【 】内に記述した方の性別・年齢・職業を示した（記載がないものは「無回答」としている）。

## 1. 男女の地位・平等感について感じる事

- どちらかと言うと、家庭の事は女性、外で働くのは男性が良いと思っていて、平等に同じ時間、同じ仕事をしたいとは思っていない。ただ外（働く場）の世界からまったく離れて子育てをしていると孤独だし、子育てが嫌になってなんで私ばかり・・・と考えてしまう。お金を稼ぎたいのはもちろんだが、少し息抜きのため週に2、3日程度、子育てや家事に負担にならない程度の仕事がしたいと思う。そう言う主婦は多い。ワークシェアリングでみんなが少しずつ稼げて、社会とかかわれて息抜き出来て・・・。そんな贅沢な仕事を増やしてほしい。そうすれば子どもをもっと産んでみたいと思う。（もっと若ければ）  
【女性・40～44歳・専業主婦（夫）】
- 女性の社会進出は当然歓迎されるべき事ではあるが、全ての面で男と女が同じ条件となるのは無理があり、男女間のバランスをどのように保持するか等が重要であるのではと考える。  
【男性・45～49歳・その他】
- 家庭での女性の意見は大分取り入れられるようになったが、男性があまりにも弱くなり過ぎだと思われ  
ます。【女性・65～69歳・家族従業】
- 男女平等はもちろん良いことだと思います。でも勘違いされている人もいますし、感じます。男には男にしかできない仕事、女には女にしかできない仕事があると思います。男性を尊重し生かして、女性をも尊重し生かして役割を踏まえた平等が良いのではないのでしょうか。  
【女性・65～69歳・専業主婦（夫）】
- 都合のいい時だけ「男だから、女だから」あるいは「男なのに、女なのに」と言う事を聞くが、それがあ  
るうちは無理なことだと思う。【男性・35～39歳・常勤・フルタイム】
- いくら平等を築く様に努力をしたとしても、生まれながらにして男女の役割(子どもを産める体か、そう  
でないか)が違うのだから、完全に同じ立場とすることは難しいと思う。それぞれの境遇を理解し、少  
しでも分かり合えることが重要だと思う。【女性・25～29歳・常勤・フルタイム】

○男女平等と言われて久しいが、社会において「特別なこと、重要なこと」などは男性の出番のようになっていて感じる。女性としては「大変なことは男性任せ」は楽でよいが、任されるだけ、頼られるだけで育っている男性はしっかりとした資質を持った男性が少ない。となると、女性も考え方を変え、自分もしっかりしなくては・・・と言う意識の必要性を感じる。

【女性・50～54歳・常勤・フルタイム】

○基本的には男女共同参画に賛成。ただし、男女の性差は当然あり、それは大事にすべき。その上でお互いに補完し合う姿の社会が望ましい。【男性・70歳以上・無職】

## 2. 家庭生活

○夫は退職後、洗濯、ゴミ捨て、皿洗いをしてくれるようになった。男性の就労時間（残業等）が長すぎることも、男性の家事不参加の一因と思う。男性もワークバランスが大切で、周りの目から解放されなくてはならない。【女性・60～64歳・自営業主】

○最近若い人たちの間で男女平等を勘違いしている場を時々みかけます。お父さんに育児、料理、その他、家事全般をまかせて、平等を言っている人、最近の父親（若い父親）は大変だと思う。

【女性・65～69歳・自営業主】

○職場、家庭、子育てがうまく機能すればよいが、色々問題もあるような感じがします。女性が働くということは今の生活を良くするための資金援助だと思う。それに伴う子育ては他人に（保育所）お願いする。何か変。【男性・70歳以上・無職】

○社会的男女平等は進みつつありますが、行き過ぎた家庭内の平等を求める女性が増えている気がします。社会的平等は必要であるが、家庭内では少なからず男女の役割分担は残らないと、家庭が成り立たないと思います。【男性・40～44歳・常勤・フルタイム】

○子どもをちゃんと見ない母親が多いと思う、子どものために自分の時間を犠牲にしているような感覚は子育てにはよくないと思うし、仕事をしていると、そう思いがちになる気がする。また世論も母親は大変と言う風潮は良くないと思う。余計に母親は大変だと勘違いしてしまう母親が増える。子育ては楽しいと思うし、とつても短い時間なのだから、子育てできる喜びを感じられる世間であって欲しいし、母親が家にいても育てられる手当てを充実してほしい。【女性・40～44歳・パート・アルバイト】

○男性がもし一人で生活する事になっても、料理、洗濯、掃除など出来るように日々の生活の中で分担していった方が良く、女性も社会の中で生活していけるように家庭だけでなく、仕事を持つと良いと思います。仕事を持つことで男性の気持ちも分かり、男性も家事をすることで女性の気持ちも分かり、男女共同に少しでも繋がるような気がします。【女性・35～39歳・専業主婦（夫）】

## 3. 社会参画（地域活動）

○男性が常に優遇されていると不満を持っているだけでは、何も変わらないので、女性をもっと社会に対しての意識を高める事も必要であると思う。積極的に地域活動から参加するのも良いと思う。

【女性・50～54歳・パート・アルバイト】

○男女共に、地域社会に対してまったく興味がなく、無関心のように思えます。自分たちの住んでいる町ですら興味が無いように思えます。【男性・40～44歳・常勤・フルタイム】

○地域などの集いで、男性女性の区別を感じないで、伸び伸びと話し合いが出来て今の時代は幸せだと思います。私達の若い頃は男性中心で、会社などは女性は何時カヤの外でしたので、自分の意見など口にするには有りませんでした。これからは男女共同参画社会が皆様の積み重ねで広がっていく事を期待します。【女性・70歳以上・無職】

○地域活動などに若年層の参加が少ない。どうしても年配の方が中心となっているため、頑張ってくれてはいるが、伝統などを守るのも良い事だが、悪い習慣などは中々改めることが難しい。そんなことから若い方の参加が遠のくのかなとも思う。【女性・45～49歳・常勤・フルタイム】

○いつでも平等に対応する気持ち、地域活動を積極的に参加し、心に余裕を持つと良いと思う。

【男性・55～59歳・常勤・フルタイム】

- 結婚しやすい出会いの場、チャンスを作る企画を催すべき（バスツアー、パーティー野外活動等）。独身の人達の結婚へつながる結婚相談を行った方が良い。【男性・65～69歳・自営業主】
- 最近の男性は地域活動行事に参加しないばかりか、近所との挨拶も出来ない方が多い。女性の進出が目立つ。【男性・55～59歳・自営業主】

#### 4. 少子高齢社会

- 私自身の世代のせい、男性が仕事、女性が家庭という文化の風習にどこか異論がある訳ではないのも事実です。ただ実際に大企業でも男女共同参画に対する意識は変わったかもしれませんが、中小企業ではまだまだ改善されていないのが現状ではないでしょうか？子育てをするにも、自立するにも、女性単体に対する経済的不安が少子化問題等につながっているのだと思います。  
【女性・35～39歳・常勤・フルタイム】
- 男女共同参画とありますが、現実とはまだ程遠いと思います。昔と比べると改善されているのですが。職場でも結婚、出産を機に退職する女性が多いのは、そうせざるを得ないからだと考えます。特に育児の上での負担が大きく、核家族で共働きの家庭では厳しいのではないのでしょうか。私も現在総合職として勤めていますが、パートナーと共に暮らすことを考えると互いの両親も遠方のため、おそらく私は仕事を辞めなければならないでしょう。延長保育、病児保育、休日の保育など拡充が望まれます。  
【女性・25～29歳・常勤・フルタイム】
- 私たちの世代より年配（60代、70代）の方々の方が「女はこうあるべき」等の考えに縛られそれを強要してくる感じがします。「今の時代はね・・・」とは、とても反論できませんし、その助言をやり過ぎすしか術はありません。自治体などは高齢者の方々頑張っていますが、その年代の方々を中心になっている事を私達は忘れてはいけないと思います。【女性・45～49歳・専業主婦（夫）】
- 加齢と共に健康の問題、医療の問題、体が不自由となり、更には収入は減るばかり、子も妻もいない、誰が介護してくれるのか？日本全体が助け合い、思いやり、特に高齢者に対する支援の体制は無に等しい、自立することが困難な状態にある人達、その可能性のある人達はどうかしてくれるのか。一方若い人から高齢に至るまで仕事がない。多くの人の先頭に立つ人から心を直すべきだ。この国を沈没させないためにも！抽象論は不要である。具体的にどうするか。【男性・65～69歳・無職】
- 女性が結婚できるようにするには、男性の経済力が必要です。子どもが出来れば学費もかかる。現社会の約35%が非正規社員では男は結婚も出来ない。【男性・65～69歳・パート・アルバイト】

#### 5. 職業・就労

- 社会一般的な認識として「働いている女性はいずれ辞める」「結婚出来ない女性は何か問題がある」という事を感じている。その様な一般的な認識を変えると共に、産休にも対応できる仕事の在り方を考える必要があると思う。【男性・45～49歳・常勤・フルタイム】
- 男だから、女だからという事ではなく、仕事は仕事としてきちりやるのが当たり前！家庭においては、共働きなら平等、協力するのが当たり前なのに、男は仕事を理由にさぼる。仕事なら女も同様。社会的というより、個々の問題もあると思う。しかしまだまだ男は仕事という職場が多いと思う。  
【女性・40～44歳・常勤・フルタイム】
- 依然として出産子育てする女性に対する就業環境が悪いと感じられる。休暇制度等は確かに充実してきたが、取得する者はマイナスのイメージがあり、当たり前で制度を利用するようになっていないと感じる。また同時に夫も子どもの行事、病気を理由に職場を休むことが難しく、妻の負担を増加させる要因の一つになっている。男女とも、出産、子育て等に関する理解を職場や社会全体で深めて欲しい。  
【男性・30～34歳・常勤・フルタイム】
- 子どもを持つ女性が安心して働けるように保育園の充実、地域の見守り、男性の育児休業など制度の充実  
【女性・70歳以上・家族従業】
- 会社の理解がまだ不足している。女性も、より積極的に働きかけるべき、最初からあきらめている。

【男性・55～59歳・常勤・フルタイム】

- 社会的に課題があり、どの企業でも女性は感情的な側面で使いづらいつ感じています。男性のように能動的に働きかける人が少ないからです。女性の社会進出は賛成ですが、男性の能力にあったものと、女性の能力にあったものから社会で活躍してほしいです。今のまま女性が男性社会に進出すると間違いなく未婚率が高くなります。【男性・40～44歳・無職】
- 企業においてワーク・ライフ・バランスを支援する制度はあるものの、なかなか利用しにくい現状があると感じます。逆に奨励するような仕組みがあると良いですね。【男性・35～39歳・常勤・フルタイム】

## 6. 男女平等教育

- 高齢者の多い地域や職場の会合等では男性は上座、女性は下座と言う意識が強いが、小中学校等での教育現場では男女平等が行き届いていると見受けられる。時代の経過により、進展していくものと思う。

【男性・65～69歳・常勤・フルタイム】

- 伝統文化は大切に、時代と共に改善していくべき。何千年もの歴史を経て作られた文化を大切に、改善していくならば、男女問題など自ずから安全、安心社会が吸収してくれるはずである。

【男性・70歳以上・無職】

- 学校（特に小学校）において男女共に“さん”づけで先生が子どもを呼んでいる学校がある。男女平等は当たり前のことだが、性差まで奪うのはいかなものか。男女差別はもつてのほかだが、行き過ぎた歪んだ男女平等は避けるべきである。【男性・45～49歳・常勤・フルタイム】
- 机上の空論では絶対ダメ。まず公的機関のすべての職員がそういった社会の実現を望むこと。実現に向けての意識改革【女性・60～64歳・専業主婦（夫）】
- 男女共同参画を望んでいない人が多いのでは？と感じる事があります。平等と適切な役割分担をはき違えて、自分に優位的な考えを押し付けている人もいます。男女うんぬんよりも、人としての道徳心を育てて欲しいです。【女性・35～39歳・常勤・フルタイム】
- 世代によって男女共同参画への意識は相当異なるように感じています。上の世代になると、男性のみならず女性が「こういうことは女性がやるものではない」と言ったように女性自身の行動を規制する場面も多々あります。正直そういう世代の意識を変えるのは困難なので、若い世代の育成に力を入れる事に重点を置くと良いと思います。【女性・40～44歳・常勤・フルタイム】

## 7. 男女共同参画に関する施策

- 家族や家庭に於いて、男女共同参画社会についての広報活動が、市民（国民）に十分に理解されていないと感じます。また、広報についてのアドバイザーが十分に活動をしていないと思いますので、この面での広報活動に充実化をしてほしいと思います。【女性・70歳以上・無職】
- 推進のために広報や支援をする前に、企業や地域で男性参加の講習会等を実施しなければ意味がないと思います。一人一人の考え方、習慣に根付いているものなので、根本的な問題を解決していかないと男女共同参画社会どころか結婚する方が減少していくでしょう。【女性・35～39歳・常勤・フルタイム】
- 男女共同参画社会というのは必要であると考えているが、男女まったく同じ仕組みや、考え方でやっていたのでは無理が出てくると思う。やはり、精神的、肉体的相違を理解しながら、出来る事と出来ない事をバランスよく組み合わせた施策が必要なのではないか。【男性・50～54歳・常勤・フルタイム】
- 男女共同参画社会についての認識はまだ低いのではないか。公共機関がアンケートや広報活動を行うことは賛成です。これからも活動等を望みます。【男性・60～64歳・無職】
- 男女共同参画社会は本来あるべき姿である。しかし現実としては全く異なる。社会として出来ていない！仕事において法律的には平等であっても実務では連続での徹夜作業など厳しいことは女性は体力的に難しい！権利は主張しても責任をはたせない事もある。その辺も加味して、社会全体として女性が働ける環境作りが急務である。【男性・45～49歳・常勤・フルタイム】

## 資料編





～あなたのご意見をお聴かせください～  
宇都宮市男女共同参画に関する意識調査

日頃から市政について格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

宇都宮市では、男女が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現を目指し、「宇都宮市男女共同参画行動計画」に基づいて、さまざまな取組を進めています。

本調査は、平成18年度に実施した調査からの意識の変化や、社会情勢の変化に伴う新たな問題に対する意識等を調査し、計画の見直し及び市が取り組むべき施策の基本資料とするために実施いたします。

お忙しいところお手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査にご回答いただく方は、住民基本台帳に登録されている20歳以上の方の中から、3,000人を無作為に選ばせていただきました。お答えいただいた内容は、本調査の目的だけに利用し、秘密の保持には万全を期してまいりますので、率直なご意見、ご感想をお寄せください。


平成23年9月

宇都宮市長 佐藤 栄一

調査票内の  
結果の見方

- 特に注記のない限り、結果数値が1行の場合、左が女性、右が男性、2段の場合、上段が女性、下段が男性である。
- 結果数値の単位は「%」である。

ご記入にあたってのお願い

- ①回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。  
質問によっては1つだけ回答していただくものと、複数回答していただくものがありますので、指示に従って回答してください。  
○印は、番号を囲むようにつけてください。  
例) 
- ②「その他」とお答えの方は〔 〕内に、その内容を具体的にお書きください。
- ③ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の宇都宮市役所あての返信用封筒（切手不要）に入れて、

**10月7日（金）までにポストにご投函ください。**

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

宇都宮市 市民生活部 男女共同参画課

電話：028-632-2346

## 男女平等意識についてお伺いします。

**問1.** あなたは、現在、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

(①～⑧の各分野について、それぞれ1つずつ○)

	1 優男性 遇さの れ方が 非常に	2 れ男ど て性の いのら る方が かとい 優え さは	3 平 等にな って いる	4 れ女ど て性の いのら る方が かとい 優え さは	5 優女性 遇さの れ方が 非常に	6 わ から ない	無 回 答
女性《N=853》 男性《N=614》							
①家庭生活で	10.1 3.6	48.4 36.5	26.5 39.3	4.2 9.6	0.7 2.1	5.6 6.0	4.5 2.9
②職場で	13.5 8.8	46.3 46.4	14.4 22.1	4.5 9.9	0.4 2.3	14.5 6.0	6.4 4.4
③学校教育の場で	1.5 1.8	15.9 11.9	46.0 54.4	2.6 4.7	0.2 1.1	26.6 21.2	7.2 4.9
④町内会や自治会等の 地域社会で	7.4 5.0	38.5 28.7	27.4 41.7	3.9 7.0	0.4 0.8	17.6 13.4	4.9 3.4
⑤政治の場で	29.3 19.5	44.9 44.6	8.7 20.4	0.9 2.6	— 0.8	10.9 9.1	5.3 2.9
⑥法律や制度の上で	10.1 4.6	33.5 23.9	30.6 48.7	3.4 7.7	0.5 2.3	15.6 9.3	6.3 3.6
⑦社会通念・慣習・ しきたりなどで	20.3 11.6	55.1 56.4	10.2 18.1	1.6 5.2	0.2 0.7	7.9 5.0	4.7 3.1
⑧社会全体で	9.5 4.1	60.3 51.8	15.2 27.2	2.3 7.7	0.4 1.6	8.0 5.0	4.3 2.6

**問2.** 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたの意見に近いものはどれですか。

(1つだけに○)

女性《N=853》 男性《N=614》

1. 男は仕事、女は家庭にいるのがよい	6.8	12.7
2. 男女とも仕事をもち、家庭のことは女性が責任をもつのがよい	3.5	7.5
3. 男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい	51.0	45.0
4. 男女の役割は固定せずに、男女どちらが仕事をしても家庭にいてもよい	34.1	30.3
5. その他〔具体的に〕	1.6	1.5
6. わからない	1.4	1.5
無回答	1.5	1.6

**問3.** あなたは自分の子どもをどのように育てたいと思いますか。子どもがいない場合は、いと仮定して選んでください。 (1つだけに○) 女性《N=853》 男性《N=614》

1. 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに育てたい	10.1	26.7
2. どちらかといえば、「男の子は男らしく、女の子は女らしく」というふうに育てたい	40.9	37.9
3. どちらかといえば、性別にとらわれずに育てたい	38.6	23.9
4. まったく性別にとらわれずに育てたい	7.2	8.3
5. わからない	1.4	1.1
無回答	1.9	2.0

## ワーク・ライフ・バランス※についてお伺いします。

※「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事」と、家庭生活や地域活動などの「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実している状態のことを言います。

**問4.** 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について知っていましたか。 (1つだけに○) 女性《N=853》 男性《N=614》

1. 言葉も内容も知っていた	15.9	25.1
2. 言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らなかった	24.0	26.9
3. 言葉も内容も知らなかった	58.1	45.9
無回答	1.9	2.1

**問5.** 生活の中で、仕事、家庭生活（家族と過ごすこと、家事、育児など）、個人・地域の生活（趣味、娯楽、ボランティア活動など）のうち、何を優先しますか。現実と理想について、お答えください。 (下記の選択肢からあてはまる番号を、それぞれ1つ記入してください。)

	女性《N=853》 男性《N=614》		(1) 現在		(2) 理想	
1. 「仕事」を優先			30.2	50.2	1.3	2.8
2. 「家庭生活」を優先			30.0	10.4	15.4	12.9
3. 「個人・地域の生活」を優先			1.5	2.3	3.5	4.1
4. 「仕事」と「家庭生活」を優先			25.6	24.3	19.7	23.1
5. 「仕事」と「個人・地域の生活」を優先			2.5	3.6	3.0	6.0
6. 「家庭生活」と「個人・地域の生活」を優先			4.2	3.1	18.8	14.5
7. 「仕事」と「家庭生活」と「個人・地域の生活」のすべてを優先			1.6	2.1	33.2	32.2
無回答			4.3	4.1	5.2	4.4

## 家庭生活についてお伺いします。

【同居の配偶者がいる方は(1)現在と(2)理想を、それ以外の方は、同居の配偶者がいると仮定して、(2)理想のみをお答えください。(問6のみ)】

**問6.** あなたの家庭では、日常の家庭生活の分担はどうしていますか。また、理想はどうしたいと考えていますか。  
( (1)現在, (2)理想とも, ①~⑥それぞれ1つずつに〇 )

	(1) 現 在							
	1 すべて夫	2 主に夫	3 夫と妻の半々	4 主に妻	5 すべて妻	6 家族 夫と妻以外の	7 ・該 そのし 他ない	無回答
女性《N=705》 男性《N=516》								
①炊事	0.3 1.2	1.0 1.4	4.8 10.7	34.3 46.1	50.1 34.5	2.4 1.2	3.0 3.1	4.1 1.9
②洗濯	0.1 1.7	2.0 3.7	5.8 11.4	25.7 35.5	56.2 41.1	3.0 1.6	2.6 2.9	4.7 2.1
③掃除	0.1 1.7	2.4 6.6	12.9 20.9	29.9 34.5	45.7 29.7	2.4 1.4	2.0 2.9	4.5 1.7
④日常の買い物	0.6 1.2	1.7 3.5	15.6 27.7	33.5 41.1	39.1 19.4	2.7 1.2	2.4 3.3	4.4 2.7
⑤子どもの身のまわりの世話	— 0.6	0.6 —	8.8 12.4	32.5 40.9	29.1 20.7	2.0 1.2	16.7 16.7	10.4 7.6
⑥高齢者の介護	0.1 1.0	0.7 1.0	8.4 17.6	14.2 17.2	11.8 7.4	2.7 0.8	49.8 45.5	12.3 9.5

	(2) 理 想							
	1 すべて夫	2 主に夫	3 夫と妻の半々	4 主に妻	5 すべて妻	6 家族 夫と妻以外の	7 ・該 そのし 他ない	無回答
女性《N=853》 男性《N=614》								
①炊事	0.4 0.2	0.6 0.5	46.1 38.6	36.5 41.9	4.1 6.8	1.5 0.8	1.8 2.6	9.1 8.6
②洗濯	0.1 0.8	0.9 1.6	41.6 45.0	37.5 33.9	7.6 6.4	1.5 0.8	1.6 2.9	9.0 8.6
③掃除	0.2 —	3.4 3.1	59.9 56.5	21.0 23.3	3.6 4.9	1.4 0.7	1.5 2.8	8.9 8.8
④日常の買い物	0.6 0.3	0.2 1.1	53.6 57.7	30.1 25.2	3.6 3.7	1.4 0.5	1.5 2.8	8.9 8.6
⑤子どもの身のまわりの世話	0.1 —	0.5 0.5	63.5 52.8	15.1 23.8	1.4 3.7	0.9 0.7	8.2 8.0	10.2 10.6
⑥高齢者の介護	0.4 —	0.7 1.0	56.9 53.9	4.6 9.4	0.2 1.0	3.2 1.0	23.9 22.6	10.2 11.1

**問7.** 今後、男性が家事、子育て、介護に積極的に参加していくためには、特に、どのようなことが重要だと思いますか。 (2つまで○) 女性《N=853》 男性《N=614》

1. 男女の役割意識についての社会通念や慣習, しきたりを改めること	31.7	26.4
2. 夫婦の間で家事などの分担について, 十分に話し合い, 協力し合うこと	50.9	43.3
3. 男性の仕事中心の生き方や考え方を改めること	17.7	21.7
4. 男性が家事や子育て, 介護について学べる機会や情報提供を充実すること	21.3	15.3
5. 労働時間の短縮や休暇制度を普及させること	30.8	37.8
6. 賃金, 昇進・昇格の機会, 仕事内容など, 労働条件での男女の差をなくすこと	19.3	24.1
7. その他〔具体的に〕	1.6	3.3
8. わからない	2.5	2.9
無回答	2.6	1.8

## 地域・社会参画についてお伺いします。

**問8.** あなたが、現在、行っている地域などでの社会的な活動はどれですか。また、今後、行ってみたい活動はどれですか。 ((1)現在, (2)今後とも, あてはまる番号すべてに○)

	女性《N=853》 男性《N=614》		(1) 現在, 行っている活動		(2) 今後, 行ってみたい活動	
1. 自然保護, 環境美化, リサイクルなどの環境保全活動	17.2	13.7	19.9	29.0		
2. 高齢者福祉, 障がい者福祉などの社会福祉活動	6.0	4.9	17.6	15.5		
3. 健康づくり, 医療介護などの保健医療活動	6.1	4.1	19.5	18.1		
4. 消費生活に関する活動	1.2	2.0	6.4	8.5		
5. PTA, 子ども会などの子どもや青少年の育成活動	14.5	6.8	7.0	9.0		
6. 自治会, まちづくりなどの地域活動	17.0	21.2	10.0	18.7		
7. セミナー, 講座などを受講したりする生涯学習活動	11.0	8.0	29.4	23.8		
8. 文化, スポーツ, 教養などのグループ活動	16.5	16.8	27.8	27.4		
9. 子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動	9.1	8.0	10.8	20.8		
10. 国際交流・協力活動	2.0	3.4	15.0	17.3		
11. その他〔具体的に〕	0.9	1.0	0.5	1.0		
12. 特になし	44.0	47.6	20.0	20.0		
無回答	4.9	4.6	9.0	7.3		

【問8. で「(1) 現在, 行っている活動」は「12. 特になし」に○をつけた方にお尋ねします。】

**問8-1.** あなたが現在, 社会的な活動に参加していない主な理由は何ですか? (2つまで○)

女性《N=375》 男性《N=292》

1. 仕事が忙しく時間がないから	32.8	41.1
2. 出産・育児があるから	12.3	1.0
3. 介護が必要な家族がいるから	6.9	1.7
4. 家族の協力が得られないから	2.4	—
5. 家族の転勤や転居があるから	2.9	1.7
6. 健康に自身がないから	21.6	14.0
7. やりたい活動がないから	12.5	14.7
8. 魅力のある団体や仲間がないから	10.1	15.1
9. 活動の場がないから	4.5	8.2
10. 活動の費用がないから	5.9	6.8
11. 活動についての情報がないから	12.8	19.5
12. その他〔具体的に	6.4	7.9
13. 特に理由はない	12.3	11.0
無回答	0.5	1.0

## 職業・就労についてお伺いします。

**問9.** 一般的に, 女性の働き方について, あなたが望ましいと思うのはどれですか。(1つだけに○)

女性《N=853》 男性《N=614》

1. 職業をもたない方がよい	0.4	2.4
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい	4.0	4.1
3. 子どもができるまでは職業をもつ方がよい	8.0	12.9
4. 職業をもち, 出産育児期間は一時退職し, 子どもに手がかからなくなってから, 再就職した方がよい	52.2	49.5
5. 結婚や出産・育児にかかわらず, ずっと職業をもちつづける方がよい	28.6	24.3
6. その他〔具体的に	3.5	5.0
無回答	3.4	1.8

【女性の方にお尋ねします。(問10のみ)】

**問10.** あなたご自身の職業の持ち方は、実際はどれに該当しますか。(子どもがいない方は、いと仮定してお答えください) (1つだけに○) 女性《N=853》

1. 職業をもたない	4.3
2. 結婚するまでは職業をもつ	10.7
3. 子どもができるまでは職業をもつ	12.3
4. 職業をもち、出産育児期間は一時退職し、子どもに手がかからなくなってから、再就職する	39.5
5. 結婚や出産・育児にかかわらず、ずっと職業をもちつづける	25.8
6. その他〔具体的に 無回答	3.2 4.2

**問11.** 女性が結婚や出産・育児のために退職し、その後、再就職するためには特に何が必要だと思いますか。 (2つまで○) 女性《N=853》 男性《N=614》

1. 夫の理解や家事・育児などへの参加	44.7	37.1
2. 夫以外の家族の理解や家事・育児などへの参加	10.1	7.0
3. 子どもや介護を必要とする人を預かってくれる施設やサービスの充実	41.9	38.1
4. 就職情報や職業紹介などの相談機関の充実	6.7	4.9
5. 技能習得のための講座等の充実	4.2	2.4
6. 企業等事業所の理解	20.9	23.0
7. 企業等が再就職を希望する人を雇用する制度の充実	27.4	32.6
8. フレックスタイム制の導入や育児休業などの制度の充実	22.4	25.7
9. その他〔具体的に 無回答	1.4 2.3	2.4 1.0
10. わからない	2.3	1.0
無回答	2.3	6.0

**問12.** あなたの仕事は次のうちどれにあたりますか。(1つだけに○)

女性《N=853》 男性《N=614》

1. 自営業主	4.9	9.0
2. 家族従業(農家や商店など自営業主の家族で、その自営業に従事)	5.2	1.1
3. 常勤・フルタイム	21.3	50.3
4. パート・アルバイト・派遣など	22.6	6.4
5. 内職	0.5	—
6. 学生	1.2	1.6
7. 専業主婦(夫)	27.2	0.8
8. 無職	14.2	25.4
9. その他〔具体的に 無回答	0.9 2.0	2.4 2.9

【問 12. で、「7. 専業主婦（夫）」「8. 無職」に○をつけた方にお尋ねします。】

**問 13.** あなたは、今後、働きたいと思いますか（起業を含む）。（1つだけに○）

女性《N=353》 男性《N=161》

1. 働きたい	19.0	15.5
2. 働きたいが、働けない	38.5	33.5
3. 働きたくない	31.2	36.6
4. わからない	7.9	10.6
無回答	3.4	3.7

【問 13. で、「2. 働きたいが、働けない」と回答した方にお尋ねします。】

**問 14.** あなたが働けない主な理由は何ですか。（2つまで○）

女性《N=136》 男性《N=54》

1. 仕事と家事・育児との両立が難しいから	8.8	—
2. 子どもを預けられる人や施設・サービスがないから	4.4	—
3. 保育園や幼稚園に預ける方が、経済的に負担が大きいから	2.2	—
4. 介護をする必要があるから	10.3	7.4
5. 配偶者や子どもなど家族が望まないから	5.1	—
6. 体力や健康に自信がないから	36.8	51.9
7. 能力に自信がないから	1.5	7.4
8. 年齢的に適当な募集がないから	49.3	66.7
9. やりたい種類の仕事の募集がないから	11.0	11.1
10. 通える範囲に適当な場所がないから	8.8	3.7
11. 家族に転勤があり、続けられないから	2.2	—
12. その他〔具体的に〕	11.0	7.4
無回答	0.7	—



## 少子高齢化についてお伺いします。

**問 15.** 近年、女性が一生のうちに産む子どもの数が少なくなっていますが、その主な理由としてどのようなことがあると思いますか。(2つまで○) 女性《N=853》 男性《N=614》

1. 子どもを取り巻く社会環境に不安をもっているから	13.0	9.4
2. 子育てしながら働ける社会的なしくみが整っていないから	40.0	42.0
3. 出産や育児に対する男性の理解や協力が足りず、女性の精神的・肉体的負担が大きいから	14.8	6.2
4. 育児や教育のための経済的負担が大きいから	43.1	48.7
5. 子どもは少なく産んで十分に手をかけて育てたいという人が増えたから	6.3	6.0
6. 子どもをもつことよりも、自分自身の趣味や余暇などを大切にする人が増えたから	15.0	20.0
7. 女性の高学歴化や社会進出によって結婚年齢が上昇したから	22.6	21.7
8. 結婚しない人が増えたから	22.2	21.5
9. その他〔具体的に〕	2.2	4.1
10. わからない	2.7	1.8
無回答	2.6	2.3

**問 16.** あなたは、豊かな老後をおくるためには特にどのようなことが必要だと思いますか。

(2つまで○) 女性《N=853》 男性《N=614》

1. 働く場があること	9.1	11.6
2. 健康でいること	71.2	66.4
3. 楽しめる趣味や娯楽があること	18.4	20.7
4. 財産や預金が足りていること	24.9	29.6
5. 安心して住める家があること	6.8	4.9
6. 社会保障制度がしっかりしていること	40.2	38.4
7. 日頃の身の回りの世話をしてくれる人がいること	2.2	3.1
8. 病気になったとき看病してくれる人がいること	3.6	5.0
9. 福祉関係の施設が充実していること	10.2	9.6
10. ボランティア活動などを通じて社会や地域に貢献すること	3.3	3.4
11. その他〔具体的に〕	0.8	1.1
12. わからない	0.1	—
無回答	2.0	1.6

## 男女の人権についてお伺いします。

**問 17.** あなたは、パートナー（配偶者や恋人など）が、自分の健康状態について理解していると思いますか。（1つだけに○）  
女性《N=853》 男性《N=614》

1. 理解していると思う	57.0	70.0
2. 理解していると思わない	17.5	9.6
3. わからない	15.4	11.7
4. 該当しない	7.0	6.4
無回答	3.2	2.3

**問 18.** セクシャル・ハラスメント\*（性的いやがらせ）についてお尋ねします。次のようなことでセクシャル・ハラスメントだと感じた経験はありますか。また、それはどこで感じましたか。（①から⑦について、あてはまるものすべてに○）

\*セクシャル・ハラスメントとは、職場や地域社会などにおいて、相手方の意に反して性的な行為を強要したり、性的な言動により生活環境を侵害したりすることです。

	感じたことがある			4 感じたことはない	無回答
	1 職場で感じた	2 地域で感じた	3 その他		
女性《N=853》 男性《N=614》					
①結婚すること、しないことなどを話題にされたこと	11.3 10.3	5.7 3.9	3.8 2.4	67.1 67.3	15.0 18.1
②名前や敬称ではなく「女の子」や「男の子」、 「おばさん」や「おじさん」などと呼ばれたこと	7.7 4.7	7.0 4.7	4.5 3.1	66.1 72.6	15.8 15.8
③年齢やからだのことで不愉快な意見や冗談を言われたこと	14.3 9.3	5.4 4.4	9.0 3.4	57.4 66.8	16.3 16.9
④卑わいな言葉をかけられたり、わい談をされたこと	15.5 6.4	4.1 1.6	8.1 2.4	57.9 71.8	15.7 18.1
⑤ジロジロと見られたり、からだを触られたりしたこと	11.4 2.0	4.6 1.6	9.0 2.9	60.6 75.7	15.6 18.2
⑥宴会でお酌やデュエットなどを強要されたこと	13.4 6.0	2.1 1.8	4.3 2.1	64.4 72.6	16.8 17.8
⑦付き合いや食事などをしつこく誘われたこと	11.1 4.6	1.9 1.3	4.8 2.4	65.9 74.3	16.9 17.8

**問 19.** あなたは過去2年間に配偶者や恋人から、①～⑤のような暴力（DV又はデートDV）を受けた経験がありますか。（①から⑤それぞれ1つずつ○）

	1 何度もあった	2 1, 2度あった	3 まったくない	無回答
女性《N=853》 男性《N=614》				
①身体に対する暴力を受けた（殴る，蹴るなど）	1.9 0.5	4.8 1.8	86.0 89.1	7.3 8.6
②精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた （大声で怒鳴る，嫌な写真を送りつける，待ち伏せをするなど）	4.7 0.7	6.8 2.9	81.4 87.5	7.2 9.0
③経済的な暴力を受けた （生活費を渡さない，支出を細かく監視するなど）	2.8 0.5	3.8 2.0	85.7 88.4	7.7 9.1
④社会的な暴力を受けた （携帯電話を壊す，親戚や友人との付き合いを制限するなど）	1.3 0.3	3.6 1.8	86.9 88.9	8.2 9.0
⑤性的な暴力を受けた（性行為を強要する，避妊に協力しないなど）	1.2 0.2	2.8 0.7	87.3 89.3	8.7 9.9

【問 19. ①～⑤のいずれかで、「1」または「2」に○をつけた方にお尋ねします。】

**問 19-1.** あなたはこれまでに、配偶者等から受けた暴力について、誰かに相談しましたか。  
（1つだけに○） 女性《N=136》 男性《N=40》

1. 相談した	43.4	7.5
2. 相談しなかった	53.7	90.0
無回答	2.9	2.5

【問 19-1. で、「1. 相談した」に○をつけた方にお尋ねします。】

**問 19-2.** 相談した相手はどなたですか。（あてはまる番号すべてに○）

女性《N=59》 男性《N=3》

1. 親族	61.0	100.0
2. 友人・知人	50.8	33.3
3. 市や県等の <u>公的機関の相談窓口</u> ・電話など	13.6	—
4. 民間支援団体，NPO法人，シェルターなど	1.7	—
5. 同じような経験をした人	3.4	—
6. 家庭裁判所，弁護士	3.4	33.3
7. 警察署・交番	10.2	—
8. 医師やカウンセラーなど	11.9	—
9. その他〔具体的に〕	3.4	—
無回答	—	—

【問 19-1. で、「2. 相談しなかった」に○をつけた方にお尋ねします。】

**問 19-3.** 相談しなかった主な理由は何ですか。(2つまで○) 女性《N=73》 男性《N=36》

1. 相談する人がいなかったから	11.0	8.3
2. どこに相談してよいのかわからなかったから	2.7	8.3
3. 相談しても無駄だと思ったから	28.8	22.2
4. 仕返しを受けると思ったから	1.4	2.8
5. 子どもに危害がおよぶと思ったから	—	2.8
6. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから	6.8	2.8
7. 自分さえ我慢すればやっていけると思ったから	32.9	38.9
8. 自分にも落ち度があると思ったから	17.8	16.7
9. 他人を巻き込みたくなかったから	6.8	5.6
10. 相談するほどのことではないと思ったから	45.2	55.6
11. その他〔具体的に 無回答	2.7	2.8
	—	—

**問 20.** DVやデートDVを防止するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

(2つまで○) 女性《N=853》 男性《N=614》

1. 被害者が早期に相談できるよう、相談窓口を周知する	56.2	51.1
2. 家庭で、暴力を防止するための教育を行う	12.2	12.9
3. 学校や大学で、暴力を防止するための教育を行う	14.4	18.1
4. 加害者への罰則を強化する	28.1	30.9
5. 加害者に、二度と繰り返さないための教育を行う	13.5	9.3
6. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど） を取り締まる	11.6	10.4
7. 暴力を防止するための広報・啓発活動を積極的に行う	8.8	10.9
8. 被害者を発見しやすい立場にある医療関係者などに対し、研修や啓発を 行う	9.8	10.1
9. その他〔具体的に 無回答	2.2	3.4
	7.7	8.8
10. わからない	6.4	5.2
	—	—

**問 21.** あなたは、男女共同参画の実現に向けて、今後、宇都宮市は特にどのようなことに力をいれたらよいと思いますか。（2つまで○） 女性《N=853》 男性《N=614》

1. 男女共同参画推進のための広報・啓発を行う	14.0	20.0
2. 学校や家庭において男女共同参画意識を育む教育を行う	22.9	23.8
3. 地域活動における男女共同参画を促進する	6.8	13.7
4. 男女共同参画を推進する市民団体等を育成・支援する	5.9	10.3
5. 女性を政策方針決定の場に積極的に登用する	12.1	12.7
6. 女性の就業を支援する	21.0	15.5
7. 職場における男女の平等な扱いについて周知啓発する	9.7	12.1
8. 保育・子育て・介護のための支援を充実する	46.8	34.4
9. 働き方の見直しなど、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた啓発を行う	16.8	16.3
10. DV防止やセクシャル・ハラスメント防止に向けた取組を推進する	4.7	4.1
11. その他〔具体的に〕	1.5	2.9
12. わからない	5.9	6.4
無回答	4.9	3.7

## 男女共同参画に関する施策についてお伺いします。

**問 22.** あなたが日頃、家庭や学校、職場、地域などで、男女共同参画社会について感じていることがございましたら、ご自由にお書きください。

項 目	件数（件）		
	全体	性別	
		女性	男性
回答数	291	169	122
（述べ回答数）	311	180	131
1. 男女の地位・平等感について感じる事	57	25	32
2. 家庭生活	32	26	6
3. 社会参画（地域活動）	19	11	8
4. 少子高齢社会	12	9	3
5. 職業・就労	65	40	25
6. 男女平等教育	36	19	17
7. 男女共同参画に関する施策	37	18	19
8. 本アンケートについて	8	6	2
9. 市政全般への要望・苦情	35	19	16
10. その他	10	7	3

## あなたについてお伺いします。

**F1.** あなたの性別は次のうちどれですか。(1つだけに○)

全体《N=1,473》

1. 男性 ……41.7	2. 女性 ……57.9	無回答 ……0.4
--------------	--------------	-----------

**F2.** あなたの年代は次のうちどれですか。(1つだけに○)

女性《N=853》 男性《N=614》

1. 20～24歳 …… 3.2 2.9	7. 50～54歳 …… 7.9 7.5
2. 25～29歳 …… 4.3 5.5	8. 55～59歳 …… 9.0 9.8
3. 30～34歳 …… 6.4 7.3	9. 60～64歳 …… 13.0 12.5
4. 35～39歳 …… 10.7 8.5	10. 65～69歳 …… 8.6 14.0
5. 40～44歳 …… 9.6 7.2	11. 70歳以上 …… 16.9 17.4
6. 45～49歳 …… 10.0 7.2	無回答 …… 0.5 0.2

F3. で、「1. いる」に○をつけた方にお尋ねします。】

**F3.** あなたにお子さんはいますか。(1つだけに○)

女性《N=853》 男性《N=614》

1. いる ……78.9 73.1	2. いない ……20.4 26.1	無回答 ……0.7 0.8
-------------------	--------------------	---------------

**F3-1.** あなたの一番下のお子さんの年齢は次のどちらですか。(1つだけに○)

女性《N=673》 男性《N=449》

1. 就学前 ……15.6 13.8	3. 高校生以上 ……68.1 71.3
2. 小中学生 ……14.6 14.0	無回答 …… 1.8 0.9

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、

10月7日(金)までにポストにご投函ください。

男女共同参画に関する市民意識調査 調査結果のまとめ  
平成 23 年 12 月

発行：宇都宮市 市民生活部 男女共同参画課  
☎320-8540 宇都宮市旭 1 丁目 1 番 5 号  
TEL：028-632-2346 FAX：028-632-2347  
E-mail：u1810@city.utsunomiya.tochigi.jp